



# Believe in myself

## 〈入試を知ろう〉 大きく分けて2つの制度があります

選択方法	特徴	実施校 (R6年度)
<b>試験制</b> (一般入試)	学力検査・調査書・面接・適性検査等を選考資料とし、合否が判定されます。	全ての高校
<b>推薦制</b> (推薦入試)	推薦書・志願理由書・調査書・面接・作文、適性検査等を選考資料として合否が判定されます。各高校の推薦要件を満たすと思われる生徒を、校長の推薦で出願するものです。校長の推薦を得るためには、校内の推薦要件に照らし合わせ、校内推薦委員会で認められる必要があります。	鶴来、松任(総合)、金沢辰巳丘、金沢北陵、金沢向陽、内灘、津幡、翠星、金沢商業、県立工業、市立工業、田鶴浜、星稜、金沢、遊学館、北陸学院、金沢龍谷、金沢学院、航空、石川高専、国際高専 など

### 推薦制(推薦入試)について

推薦入学を希望する場合は、進学しようとする学校(学科・コース)への進学目的がはっきりして、入学後、学校のリーダーとなれるような生徒が望ましく、各高等学校の推薦条件に合った生徒である必要があります。さらに、中学校の推薦要件も満たしている必要があります。

入学後、一般入試で入学した生徒以上に、学習や活動に積極的に取り組むことが望まれ、一般入試で合格できる学力も必要です。

また、推薦で出願しても必ず合格するわけではないことに注意してください。例年、推薦入試で不合格になり試験制で再度入試にチャレンジする生徒がいます。

#### 〈公立高校の推薦要件〉 石川県教育委員会の高等学校募集要項(令和6年度)より

- ・推薦にふさわしい学力を有すること。
- ・当該高等学校が定める推薦要件を満たすこと。
- ・当該学科(コース)を志望する動機・理由が明白・適切であること。
- ・当該学科(コース)に対する適性、興味および関心があること。
- ・調査書に優れた点や長所の記録を有すること。

※また、当該高校が定める推薦要件を満たすことも必要になってきます。例えば、

- ・生徒会活動やボランティア活動などに積極的に参加し、入学後もリーダーとしての活躍が期待できる者。
- ・部活動で優れた実績または資質があり引き続きその活動が期待できる者。
- ・学習意欲が高く、入学後もその成果が期待できる者

といった点を満たしているということです。

#### 〈私立高校の推薦要件の例〉

(1) 学業・人物推薦(公立高校との併願可)

学業成績が中以上であり、人物が優れており推薦入学生として適当であるもの。

(2) 部活動推薦 本校が正式に勧誘した生徒で、中学校校長が推薦するもの。

#### 〈高尾台中学校の推薦要件〉

- ① 該当学科(学科、コース)を希望する動機、理由が明白かつ適切であること。また、適正、興味、関心があること。(明確な目標がある。)
- ② 成績が優良であること (一般入試で合格できる実力があること)
- ③ 生活態度や授業態度が良好であること。(誰が見てもしっかりしていると感じられる)

## 試験制(一般入試)について

みなさんがいつも受けている定期テストと同じように、5教科のテストを受けて合否を判定する入学試験を試験制といいます。もちろん見られるのはテストの点数だけではありません。

通知表の成績や、行動の記録、部活動の実績、また係・委員会活動の様子、日頃の学習に対する様子、日頃の生活に関する様子、総合的な学習の時間の記録、進路に関する考え方等を文章化したものを3年間分まとめて書類にしたもの(調査書といいます)をあわせて選抜します。また、私立学校では入試当日の行動の様子も選抜資料にしている学校もあります。

高等学校によっては、面接や作文も併用して入学者を選抜します。



### 〈私立高校の一般入試〉

私立高校の一般入試には、**専願試験** と **併願試験** があります。

選抜方法	特徴
専願	合格した場合は <b>必ずその学校に進学する</b> という受験形式のこと
併願	受験する学校以外に、第1志望校があるという受験形式のこと。

受験に際しては**専願受験の方が有利に働く場合があります**。もちろん専願受験者から優先的に入学させるという訳ではありませんが、私立高校は志高い生徒たちをたくさん獲得したいという気持ちをもっているので専願という制度を持っています。また、私立高校内にはカリキュラムの異なる複数のコースが存在し、そのコースに従って受験を行います。多くが卒業後の進路選択に応じた習熟度別のコースになっているため合格の基準も異なります。希望したコースに基準が満たなかった場合は、即不合格というわけでは無く、異なるコースでの合格の場合もあります。高校によっては異なるコースでの合格でも専願のまま必ず進学しなければならない学校があるので募集要項で確認する必要があります。

### 〈国公立高校の一般入試〉

#### ・ 公立高校の場合

国公立高校の入試では基本的に私立で言うところの専願受験、すなわち**第一志望の学校として受験すること**になります。「希望の私立高校に合格できたし、ちょっと力試しに公立受けてみよ〜」というノリでは受験できませんので注意しましょう。公立高校には定員が決まっており、それを基準に過不足が無いように合格者を選定します。そのため**“合格したならば必ず進学する”** つもりで受験を考えてください。

#### ・ 国立高校の場合

一般受験に関わらず、国立高校の受験を意識するならば必ず、その高校に対する理解を深めることが大切になります。定員が少なく、公立高校と同じく**“合格したならば必ず進学する”** ことを前提として受験を考えて下さい。また、**独自のカリキュラムに従った教育**を行っています。そのため、国立高校を目指すということは、中学校からの情報を待つだけでなく自主的に情報収集をするような積極性が必要です。また、**受験日が他の高校とは異なる日取りで設定されている**ので、受験に向けてのスケジュールの管理も大切になってきます。また、国立高校に合格した場合は、公立高校は受験できないので注意してください。

#### ・ 適性検査を実施する高等学校について

一部の高等学校では、5教科での試験に加え**「画力」**や**「体育技能」**などの適性検査を併用して合否判定をします。当然そのための練習をしなければなりませんので、はやめに進路選択を考える必要があります。金沢辰巳丘高校の芸術コース、県立工業のデザイン科、工芸科、金沢学院の芸術デザインコース、鶴来高校の普通科スポーツ科学コース、津幡高校のスポーツ健康科学科などへの進学を考えている人は早めに担任の先生に申し出てください。